

－第61回 高校生のための文化講演会－

「学校の怪談」から見える社会の変化

6月17日（水） 於 第1体育館

怪談、オカルト研究家の吉田 悠軌先生をお招きし、文化講演会を実施しました。怪談の歴史から学校と社会とのつながりを学ぶことのできる貴重な講演でした。生徒たちも本校にも怪談がないか興味深そうに聞いていました。また、主催の一ツ橋文芸教育振興会より「集英社文庫100冊セット」と国語辞典が贈呈されました。



吉田 悠軌先生



図書贈呈式の様子

生徒たちの感想

自分はよく勉強やゲームの作業のお供にホラー話を聞くことがあるけれど、そのような人はやっぱり話し方がとても上手だ。普通の人が話す怪談話よりもなにか雰囲気があってちゃんと怖いと思うし、子供の時からyoutubeで都市伝説系の動画をよく見ていたので、これ知ってるという話題もあり楽しめた講演だった。自分が知っている怪談話でも地域や学校によって話が変わってくることも知った。都市伝説は日本のものだと思っていたけれど、海外にもあって、都市伝説という言葉は海外から来た言葉だったと知った時は驚いた。講演のお話が面白くて、これから機会があればまた吉田先生の怪談話を聞きたいと思った。この講演会を通じてなにかこういう話に対する視野が広がった気がした。（2年男子）

怪談は自分たちの時代にしかないと思っていたけれど、平安時代からあるということがわかった。しかも、昔から内容はほとんど変わっていないことや、地域によって有名な怪談の内容が違うということも知ることができた。怪談は身近にあるもので、古い話ではなく、今を生きる私達のすぐ隣にいる存在なんだなと実感できた。私が知らないだけで、世界中に色々な怪談話があると思うので、調べてみようと思った。まずは、身近な自分が住んでいる地域にどんな怪談があるのか調べてみようと思った。（3年女子）